

支えあい活動内容 (分類)	■外部からの異変発見活動    ■安否確認・声かけ    ■イベントの実施 ■町会活動を利用した活動    ■地域情報の把握    □困りごと相談 ■その他（訪問記録の作成）		
圏域（町会）	中部（A-1）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p><b>《活動内容》</b></p> <p>見守り名簿登載者は、平成25年8月現在で135人。</p> <p>町会では、見守り名簿の提供を受けてから、町会の「支えあいプロジェクト会議」や地域の「支えあいネットワーク会議」などを通して、訪問活動のあり方や対応方法などについて研修や議論を重ねてきた。</p> <p>今年度に入ってから、名簿管理者・閲覧者の見直しを行い、管理者を1人から3人に増やすとともに、閲覧者も実際に活動できる人に変更して、町会の見守り活動の態勢を整えた。</p> <p>なお、町会では加入している75歳以上の方に対して、毎年9月に敬老祝い品を配布し、10月には食事会を開催している。今年度は209人に祝い品を贈呈した。</p> <p>&lt;見守り活動～第1段階&gt;</p> <p>町会を7ブロックに分けて、役員宅と見守り名簿対象者宅を、住宅地図に色分けしてマーキングした。⇒役員に渡して「防犯パトロール」時に、注意してもらおうようにした。</p> <p>&lt;見守り活動～第2段階&gt;</p> <p>7月に、訪問活動を行うため、7ブロックを4つのブロックに統合した。複数の担当で訪問することにし、訪問時の挨拶、持参する資料、訪問者の名札づくり、訪問時に確認する内容などについて話し合った。</p> <p>9月に入り、訪問ごとに記入できる訪問記録票を作成し、役員2人1組で対象者宅を訪問した。初対面の方とも1時間近くお話しするなど、訪問に対して皆さん好意的だった。</p> <p>実際に訪問し、人間関係やエピソードなどを聞くことで、対象者の方と繋がりをもつことができ、訪問する者にとっても充実感がある活動になった。</p> <p>地域のお付き合いの輪が広がるように、今後も見守り活動を継続していく予定である。</p>			
<p><b>《成果・課題等》</b></p> <p>町会員以外でも、見守りの必要な高齢者が地域に住んでいることが分かった。</p> <p>交通便利な地域性か、若い時からいろいろな活動をしてきたが、地域での交友関係が全くないという方もいて、町会役員の訪問を喜んでくれた。支えあいマップを作る時に、見守りの線が何本もひけるように、日頃から声かけをしていく必要があると感じた。</p> <p>町会で地域の高齢者を把握するだけでなく、親族がいないとか、遠くに住んでいる方には、町会役員の連絡先を記入したカードを手渡している。こうしたことは、高齢者が地域で生活していくうえでの安心感にもつながると思う。</p>			

<p>支えあい活動内容 (分類)</p>	<p>□外部からの異変発見活動    ■安否確認・声かけ    □イベントの実施          ■町会活動を利用した活動    □地域情報の把握    □困りごと相談          ■その他（訪問記録の作成）</p>		
<p>圏域（町会）</p>	<p>中部（A-2）</p>	<p>見守り支えあい名簿の提供</p>	<p>有</p>
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、町会が地域別に3部に分かれているので、各地域の部長とパトロールのリーダーの2人1組で、名簿掲載者全員を訪問した。その3つの地域ごとに、支えあい記録ノートをつけ、問題提起などがあれば、役員会で報告しあい、情報共有をしている。</p> <p>区民活動センター運営委員会の支えあい部会で作成した、高齢者の方に役立つ情報（①公共機関等、②宅配可能な店舗や往診する医療機関など）を掲載した支えあいマップを配付しながら訪問した。</p> <p>平成23年に、区からの名簿提供が始まった時点で、町会内で、支えあいプロジェクトチーム（町会役員と民生児童委員を含めて全体で12名）を作り、検討を始め、平成25年4月に、支えあい委員会を立ち上げた。</p> <p>年1回の敬老祝品の配付（75歳以上対象で159名）では、支えあい名簿を確認し、洩れてしまっている高齢者がいることがわかり、趣旨の説明をしながら、祝品を届けることができた。</p> <p>支えあい活動は、防災、防犯にもつながるので、今までの町会活動に加える形で活動していく。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>名簿提供を受けることによって、町会で支えあい活動について話し合うきっかけができた。町会の組織を地域別に分け、活動しやすい形に見直すことになった。</p> <p>平成25年9月に行った防災訓練は、例年40名程の参加だが、今年は、80名を超える参加者が集まった。その中には、名簿登載者もいて、支えあいの活動が浸透ってきて、住民の意識が高まっているように感じた。</p> <p>町会活動は全て支えあいにつながっているので、これからも、話し合いを重ねて、他の町会の活動も参考にしながらすすめていきたい。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域（町会）	中部（A-3）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、町会長と民生児童委員が、名簿登載者全員を訪問した。</p> <p>見守り支えあいのために訪問した趣旨を伝えると、高齢者は、町会長が訪問したことを喜んでくれた。</p> <p>区民活動センター運営委員会の支えあい部会で作成した、高齢者の方に役立つ情報（宅配可能な店舗や往診する医療機関など）を掲載した支えあいマップについて、訪問時に手渡した。</p> <p>名簿掲載者全員を訪問してわかったことは、ほぼ9割の方が元気に生活をしていて、心配しなくてはいけない高齢者は1割程度だった。</p> <p>町会で対応するのが難しい数名の高齢者について、地域包括支援センターや、すこやか福祉センターに相談する必要があると判断している。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>これまでの町会活動で把握していた高齢者以外に、どこに見守り支えあいの必要な人が住んでいるか把握できた。また、町会長の訪問や、町会で支えあいに取り組んでいることを喜んでくれる人が多いことがわかった。</p> <p>これまでは町会でも障害のある方とは知らなかったお宅に訪問して、初めてその方に障害があることがわかった場合もあった。</p> <p>独り暮らしの高齢者が、外出した後、自宅がわからなくなったことがあった。</p> <p>町会で、見守り対象者の把握ができていたので、すぐにどこの住民なのかがわかり、迅速に対応し、ほどなく自宅に帰ることができた。</p> <p>見守り名簿の活用の成果は、町会と民生児童委員が連携して対象者を訪問し、生活実態を把握できるという点だけでなく、生活が大変になってきている高齢者等を、町会が把握することによって、地域住民の安心感が広がっていくことではないか。</p> <p>今後の課題としては、見守り対象者一人ひとりを、どのように見守るのか、具体的に構築していくことだと考えている。</p>			

<p>支えあい活動内容 (分類)</p>	<p><input type="checkbox"/>外部からの異変発見活動    <input checked="" type="checkbox"/>安否確認・声かけ    <input type="checkbox"/>イベントの実施  <input type="checkbox"/>町会活動を利用した活動    <input checked="" type="checkbox"/>地域情報の把握    <input type="checkbox"/>困りごと相談  <input checked="" type="checkbox"/>その他（訪問作業シートの作成）</p>		
<p>圏域（町会）</p>	<p>中部（A-4）</p>	<p>見守り支えあい名簿の提供</p>	<p>有</p>
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、高齢者の方に役立つ情報（宅配可能な店舗や往診する医療機関など）を掲載した支えあいマップを配付するのに加えて、町会長、地区担当副会長、民生・児童委員のチームで、名簿登載者全員のお宅を訪問した。</p> <p>なお、支えあいマップは、町会長、副会長、民生・児童委員等で構成する、区民活動センター運営委員会支えあい部会で作成したものを活用している。</p> <p>民生・児童委員が日頃から地域の状況を十分把握していたことにより、名簿登載者と民生・児童委員が顔見知りであることが多く、民生・児童委員が訪問した際に安心感を持たれている。</p> <p>訪問の結果、名簿登載者の中に、重病であったり、体調がすぐれないなど、重点的に見守る必要のある高齢者はいないことが分った。</p> <p>訪問時に不在でお会いできなかった方に、訪問の趣旨と町会担当者の連絡先を記入した手紙をポストに投函していることで、後日名簿登載者からの連絡に備えている。</p> <p>町会での見守り支えあい活動を効率的にすすめ、名簿登載者の状況を共有するため、個人情報に配慮した、町会独自の訪問作業シートを作成して訪問している。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>名簿登載者を全員訪問して、状況が把握できたことが大きい。</p> <p>現在は、緊急を要する対象者はいないが、今後、定期的に訪問する中で、状況の変化に応じた具体的な見守り支えあいをどのように行っていくかを検討していきたい。</p> <p>町会独自の訪問シートを作成したことにより、名簿登載者の状況が一目で確認することが可能であり、町会担当役員内での情報共有に役立っている。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域(町会)	中部(A-5)	見守り支えあい名簿の提供	無
<p>《活動内容》</p> <p>町会の会員を対象に様々な活動を行っている。</p> <p>東日本大震災発生後、町会役員が2班に分かれ、倒壊家屋やブロック塀の損傷がないかなど町会内を巡回した。また、一人暮らしの高齢者の家庭など約50件訪問した。訪問して多かつたのが、ガスの元栓のロックを解除できないというお宅が多かつた。</p> <p>防犯パトロールを土曜の夜間と日曜の昼間に行っている。パトロールの翌日に、警察署地域課にパトロール結果をファックスで報告している。年末には拍子木をたたいて地域を回っている。</p> <p>75歳以上の町会員を対象に敬老事業を行っている。町会役員と町会費の集金担当者が、お宅を訪問し敬老品を配っている。</p> <p>町会主催の日帰り旅行を実施している。バス1台を借上げ、今年は大洗温泉に行った。高齢者の方の参加が多い。</p> <p>毎年、7月下旬に子ども会の協力を得て、町会主催のラジオ体操を実施している。子どもをはじめ、高齢者の方の参加も多い。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>高齢者に関する情報は、以前は、民生委員から聞いていたが、個人情報保護の制度が整えられ、情報を得ることができなくなったため、町会の方からの口コミによる情報が中心になっている。</p> <p>敬老事業などは、町会の回覧板や掲示板などで周知して、自己申告(年齢・性別等)してもらって、受付をしているが、高齢者の女性の方は年齢がわかってしまうという理由で申込みをしない方も多い。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域(町会)	中部(A-6)	見守り支えあい名簿の提供	無
<p>《活動内容》</p> <p>町会の会員を対象に様々な活動を行っている。</p> <p>東日本大震災発生当日の夜間と翌日の夕方に、町会役員が災害要支援者のお宅を中心に巡回し、安否と被害の確認をした。訪問して多かったのが、ガスの元栓のロックを解除できないというお宅であった。また、その後も体感地震や近隣でボヤ等があった際は、一人暮らしの高齢者宅を中心に訪ね、声かけ・安否確認をするようにしている。</p> <p>毎年5月、町会の定期総会終了後、「もちつき大会」を町会員対象に実施している。町会の掲示板やもち引換え券をつけ案内をしている。高齢者の方の参加について、声かけもおこなっている。また、もちを引換えに来られた方と会話するようにしている。</p> <p>毎年、7月下旬に子ども会と地元の体操会の協力を得て、町会主催のラジオ体操を実施している。年々子どもと高齢者の方の参加が増えている。一人でも多くの方に声かけするように努力している。</p> <p>毎年9月の祭りの時に、町会員に祭りの案内と奉納袋と引換え券を配り、引換え券を持参された方には、神酒所で返礼品を手渡しすると同時に声かけをしている。</p> <p>毎年9月末に「レクリエーション・敬老事業(日帰りバスの旅)」を町会員対象に実施している。大型バス2台を借上げ、関東近辺の温泉地等に行っている。高齢者の方の参加が多い。毎年参加して、申込みのなかった方については、声をかけ参加の確認を行っている。</p> <p>防犯パトロールを月2～3回、昼間と夜間に行っている。また、年末には歳末特別警戒パトロールとして10日間実施し、地域を巡回し見守りを行っている。</p> <p>日頃、回覧板を回す時や、年末の町会員全世帯に歳末配付物(ゴミ収集袋など)を配付する時は、できるだけ手渡しし、声かけを行うようにしている。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>町会主催の様々な行事を通じて、高齢者の方への参加の呼びかけや見守りを行っている。これからも、「出あい・ふれあい・助けあい」を合言葉に、支えあいの精神に満ち、顔の見える地域社会・町会づくりに努力していく。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	■外部からの異変発見活動    ■安否確認・声かけ    ■イベントの実施 ■町会活動を利用した活動    ■地域情報の把握    □困りごと相談 ■その他（見守りマップ作成）		
圏域（町会）	中部（A-7）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>見守り対象者数は平成25年8月現在107人である。</p> <p>平成23年11月に見守り名簿を受領した後、名簿管理者と名簿閲覧者で対象者約100人を住宅地図に落とし、マップを作成している。</p> <p>町会の防犯パトロールなどの活動の際には、一人暮らしの高齢者宅の外部からの異変確認などを行っている。</p> <p>町会には、数人の世話焼きさんがいて、その人を通して高齢者の様々な情報が集まってくるため、町会内の高齢者の状況は概ね把握している。</p> <p>毎年9月に、区民活動センターを会場にして、75歳以上の町会員を対象にした「敬老会」を開催している。招待状を出すのは160～170人で、参加者は、毎年50～60人ほどで、冒頭、警察（防犯・交通）・消防署の講話などの情報提供をしてから、演芸披露やゲームなどで懇親を深め、楽しいひと時を過ごしている。</p> <p>町会の敬老会の対象者は、見守り名簿に登載されている方以外も招待しているため、名簿より多くの人数を把握している。</p> <p>また、町会の婦人部の役員が中心となり2か月に1回程度、高齢者を対象にした会を開催している。その時々で、折り紙を折ったり、おしゃべりをしたり、公園に散歩に出かけたり活動している。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>町会で把握している高齢者の方が見守り名簿に登載されている方よりも多いため、見守り名簿に載っていない方の見守りをどうするのが課題となっている。</p> <p>区が見守り対象者名簿に掲載するかどうか高齢者へ調査をした際に、自分は必要ないと回答した高齢者が比較的多かったこともある。（町会における高齢者の名簿登載率は55%である）</p> <p>区から提供される見守り名簿の内容を更に充実させる必要があるという思いがある。さらに見守り名簿に登載することによりどうなるのか、災害時にどのような対応ができるのかなど、明確に示す必要があると思う。</p> <p>また、いろいろな障害をお持ちの方に対する災害時の支援のあり方などを、事前に検討しておくことが大切だと考えている。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	■外部からの異変発見活動   ■安否確認・声かけ   ■イベントの実施 ■町会活動を利用した活動   ■地域情報の把握   □困りごと相談 ■その他（訪問マップの作成）		
圏域（町会）	中部（A-8）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>見守り名簿登載者：64人（平成25年8月現在）</p> <p>町会の中に34の班があり、各班長が募金や町会費の集金、回覧版の管理などを行っている。日頃のパトロールや町内巡回の際に、外部からの異変確認などを行っている。</p> <p>町会が助成している、友愛クラブ（町会員に限らず65歳以上の方を対象、会員数76名）が、会報の配布、ふれあい食事会やシルバーのつどいへのお誘いなどを通じて、日頃より情報伝達や安否確認を行っており、地域の高齢者の状況は概ね把握されている。</p> <p>&lt;見守り訪問活動&gt;</p> <p>平成25年6月に名簿に載っている方を把握するため、年代別に色分けして地図に落とし込み、訪問マップを作成した。小規模な町会であるため、名前から顔の浮かぶ方も多く、最初に、災害時の救援希望者や、最近見かけないような、気になる人を訪問した。</p> <p>第1回の訪問は、7月中旬に、町会役員3人で、9人のお宅を訪問した。</p> <p>訪問したことで、最近の病状や通院の状況、各種サービスの利用状況などが分かった。なお、一人暮らしの方でもご親族が近くに住んでいたり、食事の宅配サービスを利用していたり、生活面で心配な方はいなかった。また、民生委員が地域の状況をよく把握していることなども分かった。</p> <p>今後も訪問活動を行い、名簿登載者全員を訪問する予定である。その際には、3人程度で、予め話しを聞く人、記録する人など役割を決めて訪問したい。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>これまでの町会活動で接している高齢者以外にも、どこに見守りの必要な人が住んでいるか把握できた。また、実際に役員が訪問をして、高齢者の生活状況や災害時の支援の必要性などを確認することができた。</p> <p>独居高齢者で、地域との付き合いのない方や、つどい等に参加できない方と、どのように情報交換や交流をしていくかが、今後の課題である。</p> <p>近隣に住んでいる方からの、日頃からの声かけや町会行事等へのお誘いを通じて、見守り活動や顔を合わせたの交流を積極的に進めていきたい。</p>			



支えあい活動内容 (分類)	■外部からの異変発見活動    ■安否確認・声かけ    □イベントの実施 ■町会活動を利用した活動    □地域情報の把握    □困りごと相談 ■その他（支えあい図の作成）		
圏域（町会）	中部（A-9）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、名簿閲覧者10人と民生・児童委員2人が、2人1組になり、分担して名簿登載者全員を訪問した。</p> <p>支えあい名簿の提供を契機に、現行の防災組織を、支えあい活動を行う組織とみなす形で変更した。組織の変更に際しては、他町会の防災組織を参考にし、防災組織の態勢表を、新たなメンバーも募集し、作り直した。</p> <p>防災地図（支えあい図）の作成時には、町会役員だけでなく、商店主やパトロール協力員の青年など、50人で検討し、まちぐるみで防災組織（支えあい組織）の充実を図った。</p> <p>個人情報に配慮して、支えあい図に、赤や黄色などの色をつけるなど、必要最小限の情報を共有し、月2回のパトロール時に、郵便受けや電気の点滅などを確認している。</p> <p>参加できなかった防災組織（支えあい組織）のメンバーに、町会の防災訓練時など、報告を兼ねて訪問し、メンバー一人ひとりの意識を高めてもらえるようにしている。</p> <p>防災パトロールなどの支えあい活動に係る経費については、町会費の中で予算化した。</p> <p>平成25年10月から、町会長が先頭に立って、名簿登載者宅を訪問する予定になっており、今後も定期的に訪問するなど、支えあい活動を継続的・計画的にすすめていきたい。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>状況を把握したところ、常時見守りの必要な高齢者は2割弱であった。</p> <p>これまで町会活動を通じて把握していた高齢者以外に、見守り支えあいの必要な高齢者の状況を把握することができた。また、敬老祝品の配付は75歳以上対象だが、その年齢以下でも見守りが必要な高齢者を把握できたことが大きい。</p> <p>名簿閲覧者しか、支えあい名簿を見ることができないが、防災と支えあいをプラスで組織したことによって、町会組織の見直しと、協力者を増やすことができた。</p> <p>見守り支えあい活動を行う人は大勢いた方が良いので、声をかける人を増やしていきたい。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input checked="" type="checkbox"/> その他（挨拶状の作成・配付、訪問記録の作成）		
圏域（町会）	中部（A-10）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、見守り班会議を開催した。</p> <p>町会費を9区に分けて集金していた区割りを参考に地域を分け、特定した区域について担当する班を決めて担当地域の訪問メモと挨拶状の作成、地図への落とし込み作業を行った。</p> <p>各班2～3名で、名簿掲載者全員を訪問し、挨拶状と、区民活動センター運営委員会の支えあい部会で作成した、高齢者の方に役立つ情報（宅配可能な店舗や往診する医療機関など）を掲載した支えあいマップを手渡し、訪問したときの高齢者の印象などを、訪問メモに記載した。</p> <p>訪問の結果は、見守り班会議で報告しあい、情報共有をした。</p> <p>その結果、見守りが必要な高齢者はいなかったが、所在不明が数名いた。所在不明については、名簿閲覧者の民生児童委員が把握しており、すぐに所在が判明した。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>これまでの町会活動で把握していた高齢者以外にも、高齢者が多く住んでいることがわかった。</p> <p>地域の「世話やきさん」を発見し、協力を得ることができた。また、管理人常駐のマンションは、管理人が住民のことをよく把握していることがわかった。</p> <p>町会費の集金の地域だったので、もともと顔見知りが多かったが、訪問したことによって、さらに顔見知りが増え、訪問を喜んでもらった。</p> <p>見守り活動に入る前に、班ごとの打ち合わせなどを重ねたことにより、名簿閲覧者同士のコミュニケーションが良くなっていき、今後の活動に意欲的になれた。</p> <p>名簿掲載者を地図に落とし込み、訪問ルートも決めたことにより、住所を確認する手間が省けたことに加え、訪問の漏れが生じにくくなり、再訪問の時に思い出しやすいメリットがあった。</p> <p>町会独自のイベントが少なく、情報提供量も多くないので、今後訪問時に高齢者に渡して喜ばれたり、生活に役立つものなど何を持って行くかさらに考えていく必要がある。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input checked="" type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input type="checkbox"/> その他		
圏域(町会)	中部(A-11)	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、町会を8班に分けて活動しているで、その班長もしくは民生児童委員が、班長が把握していない名簿掲載者全員を訪問した。</p> <p>区民活動センター運営委員会の支えあい部会で作成した、高齢者の方に役立つ情報(宅配可能な店舗や往診する医療機関など)を掲載した支えあいマップも手渡した。</p> <p>班長の中には、10年以上役職についている人もいるので、地域を熟知している場合が多い。班長と民生児童委員と一緒に動きながら、情報の共有をしている。</p> <p>町会役員でパトロールをしていた時、ポストに新聞や郵便物がたまっている家を見つけた。親戚に連絡し、同時に中部すこやか福祉センターと警察にも連絡した。</p> <p>結果的に、名簿未掲載の60歳代の、ひとり暮らしの男性が亡くなっていたが、早期に発見することができた。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>町会役員等で名簿掲載者を全員訪問して、町内に住んでいる見守り・支えあい名簿に掲載された高齢者全体の状況について情報共有ができた。また、訪問を喜んでくれる人が多いことがわかった。</p> <p>災害時要援護者名簿に掲載されている8名のうち、6名が、支えあい名簿に掲載されていた。</p> <p>町会には、4人の民生児童委員がいるが、町会以外の地域を担当している民生児童委員が2人いるため、4人全員が、町会の支えあい活動を主体的に行うには無理がある。今後の課題として、町会で検討していきたい。</p>			

支えあい活動内容 (分類)	<input type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input checked="" type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input type="checkbox"/> イベントの実施 <input type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談 <input checked="" type="checkbox"/> その他（集合住宅の管理人との連携）		
圏域（町会）	中部（A-12）	見守り支えあい名簿の提供	有
<p>《活動内容》</p> <p>支えあい名簿を受け取ってから、区民活動センター運営委員会の支えあい部会で作成した、高齢者の方に役立つ情報（宅配可能な店舗や往診する医療機関など）を掲載した支えあいマップを渡しながらか、名簿登載者全員を訪問した。</p> <p>訪問した高齢者のうちほぼ2割の方が、同居家族がいたり、ご夫婦共にお元気だった。その他の高齢者もおおむね元気に過ごしていることがわかった。中には、民生児童委員や大家さん、近所の方が気にかけて、日常のさりげない見守りがされている方もいることがわかった。</p> <p>名簿に掲載されている、約3割の方が、見守り・支えあいについて良い制度であると喜んでいて、今後もよろしくとお願いされた。</p> <p>管理人在中の集合住宅の場合、住宅外の人が見守るのが難しい場合があるため、管理人には、町会役員の連絡先を渡し、何かあれば、連絡してもらうように頼んだ。</p>			
<p>《成果・課題等》</p> <p>これまでの町会活動で把握していた高齢者以外に、どこに見守り支えあいの必要な人が住んでいるか把握できた。</p> <p>名簿に掲載されている対象者全員を訪問したことで、入院中の方や、施設に入所されている方も把握できた。</p> <p>安否確認は電話でもできるので、今後、訪問時に、了解いただける方には、電話番号を聞き、リストにまとめたいと思っている。</p> <p>町会役員が10名程いるので、見守り対象者のメモを渡し、犬の散歩や買い物、自宅前の掃除の時など、気にかけてもらうようにしていこうと思っている。</p> <p>何かあったら、民生児童委員や交番に伝えるということ、地域で浸透させていきたい。</p>			







